

ハッピートーク～市長と語る子育て交流会～ 事前質問と回答

【一覧】

番号	内容	担当課
1	岩間公民館で市民の団体により行われている「竹の子」を継続してほしい。	岩間公民館
2	①医療福祉費の支給期間延長について ②通学路の側溝のふたの整備について ③国道355号線バイパスの開通時期について	①保険年金課 ②③都市建設課
3	①マル福の所得税額の撤廃について ②夜間の小児科の開設について	①保険年金課 ②
4	①小学校へのバス通学の定期代について	①学務課
5	宍戸小学校付近の道路について	都市建設課
6	未就学児の子どもを託児できる施設について	子ども福祉課
7	一時的に子どもを預かってくれる施設について	子ども福祉課

【質問・回答】

1	<p><b>【質問】</b></p> <p>①現在、岩間公民館で月2回行われている子育て支援の「竹の子」が、来年の3月でなくなってしまふということを知りました。とても良いものなので、できる限り継続してほしいです。</p> <p><b>【回答】</b> (担当課 ①岩間公民館)</p> <p>①岩間公民館定期講座として、子育て広場「たけのこ」は年18回開催しております。10月25日には新しくなります岩間支所3階へ移転する予定になっております。岩間支所1階には、子育て支援センターも併設されることになっております。同じような事業を1、3階で行うよりは、専門分野での開催の方がより良い取り組みができるものと考え、子育て支援センター事業として取り組むことになりました。従いまして、公民館講座での子育て広場「たけのこ」は、子育て支援センターへ移行するという事で、ご理解をお願いいたします。</p>
2	<p><b>【質問】</b></p> <p>①現在、医療福祉費の支給が受けられるのは未就学児までですが、小学生になると、さらに病气やけがが増えます。もう少し長い期間受けられればと思います。</p> <p>②通学路の問題ですが、歩道がせまかったり、足場が悪かったり、場所によっては歩道がないところもあります。うちの子は355号線を通学していますが、去年は側溝のふたの大きな穴に足をとられ2度けがをしています。1度は通院するほどで顔に傷も残ってしまいました。その後県のほうで200枚ほど新しいものにしていただきましたが、まだまだ足りません。問い合わせても費用の問題と言われ全部がきれいになるまでには、時間がかかりそうです。</p> <p>車道との間がただの白線だけのところを毎日子どもたちは歩いています。道幅いっぱいの大きなトラックも通ります。傘などをさしていると飛ばされそうです。子どもたちが安全に通学できるよう1日も早く、歩道をつくっていただきますようお願いします。</p> <p>③平成18年に開通予定であったと思われます、355号線バイパス(石岡に抜ける道路)はいつ開通するのでしょうか大きなトラックなどの旧道の通りはかなり減るのではないのでしょうか。</p> <p><b>【回答】</b> (担当課 ①保険年金課 ②③都市建設課)</p> <p>①医療福祉費助成制度は、県と市の補助事業として行われており、県の基準に沿って外来1日600円を月2回までと入院1日300円を月10日までを自己負担していただくことになっておりますが、笠間市では単独事業として自己負担額の全額を助成する制度を行っておりますので、さらなる単独事業の拡大は考えておりません。</p>

②道路側溝のふたにつきましては、古くなるに従い、穴が開いたり割れたりしているところも発生してまいります。市道につきましては、状況に応じそれらの交換はしておりますが、全ての箇所が目が届かないこともあります。そのような箇所を発見された場合は、本所、支所の道路整備課へご連絡いただければ幸いです。

ご質問の国道355号の側溝のふたについては、少しでも早く新しくなるよう、市としても水戸土木事務所へ要望してまいります。

また、国道355号の歩道整備につきましては、県に確認したところ、県としましては、「交通バリアフリー法の施行をはじめとして、人にやさしいまちづくりが求められており、歩道の設置や拡幅については重要な課題であると認識しております。しかし要望のあった国道355号の歩道整備につきましては、現道路敷きに歩道を設置するスペースがありません。新たに歩道用地を取得するにも、道路に隣接して家屋が密集しており、現時点では対応することは難しい状況にあります。現在整備中の国道355号のバイパスが完成すれば、要望箇所の交通量はだいぶ少なくなると考えられますので、その段階での状況を見極めながら、地元住民の皆様のご協力のもと、現道敷の中で何らかの安全対策ができないかなど検討してまいります。」との回答でした。

市としましては、国道355号バイパスの早期の完成と、歩行者の安全対策について引き続き県へ要望して参ります。

③ 国道355号バイパスの開通の目途ですが、県によりますと、笠間市内の整備については舗装のみを残して概ね完了しています。しかしながら、石岡地内の用地取得が難航しており、現在は用地取得に全力を注いでいるとのことでした。

市としましては、早期開通が図られるよう、県へ要望しているところです。

3

**【質問】**

- ①マル福の所得税額の撤廃。
- ②夜間の小児科を開設してほしい。

**【回答】** (担当課 ①保険年金課②健康増進課)

①医療福祉費助成制度は、県と市の補助事業として行われており、その中で所得制限が設けられております。笠間市では、県の基準に沿って所得制限を設けておりますので、所得制限の撤廃は考えておりません。

②市立病院への夜間の小児科の開設との質問ですが、現在、全国的に小児科医及び産科医が少なく、県立中央病院においても診療に支障をきたしている状況であります。

この原因は、医師の臨床研修制度が始められ、大学に残る医師が少なくなったため、多くの病院へ大学をとおして派遣されていた医師が大学へ引き揚げられたことや小児科・産科などは夜間の勤務が大変なことによる、それぞれの専門医希望者が少ないことなどがあげられております。

現在の市立病院に小児科の開設、特に夜間でも対応できる体制とのことですが、内科の医師を確保するのも難しい現在、小児科医を確保し夜間も開設する体制は無理であると思っております。

夜間の急病、特に子供の場合、親の心配は大変だと思っておりますが、子供の様子をよく観察し、早めの受診をしていただきたいと思います。

4

**【質問】**

- ① 小学校へのバス通学の定期代のことで質問があります

昔から、家から学校まで4km未満は、

1年生…全額負担していただける。

2年生…2分の1負担していただける。

3年生…3分の1負担していただける。

4年生以上…全額個人負担となっております。4kmとは、なぜ4kmなのですか？

4km以上の方は6年間負担してもらっています。

少子化で金銭的には昔に比べたら全バス通学分を市で負担してもあまるくらいなのではないでしょうか？同じバス停からの子でももらっていることもらっていない子がいます。うちは児童クラブにお願いしているので回数券にしていますが、回数検分だけでもけっこうですので、バス通学児童全員が平等に市で負担していただけるようにお願いします。

【回答】(担当課 ①学務課)

- ① ご質問のバス通学に対する補助につきましては、笠間市立小学校遠距離通学費補助金等交付に関する規則に基づきまして、遠距離通学者の保護者に対し、通学に要する交通費の一部又は全部を補助するものです。

この規則は、小学校の統合に伴って遠距離通学を強いられる児童に対しての補助を目的に、昭和54年に施行された規則であり、当時より現在と同じ基準での補助を行ってまいりました。

また、4キロメートルの基準につきましては、義務教育諸学校等の施設費の国庫負担等に関する法律施行令で、適正な学校規模の条件として、小学校の通学距離は目安として概ね4キロメートル以内となっていることを基に、交付要綱を定めておりますので、ご理解をお願いいたします。

同じバス停からの通学者でも差があるという件ですが、補助金の支給条件は児童の住居から就学すべき学校までの、通常の通学経路による、片道の距離が3キロメートル以上であることとなっておりますので、同じバス停を使っても、補助を受けられる方と、受けられない方が出てきます。

- (1) 4キロメートル以上の 全学年児童 全額
- (2) 3キロメートル以上4キロメートル未満の第1学年児童 全額
- (3) 3キロメートル以上4キロメートル未満の第2学年児童 1/2の額
- (4) 3キロメートル以上4キロメートル未満の第3学年児童 1/3の額
- (5) 自転車購入の場合(自転車通学が許可された児童) 20,000円以内

5

【質問】

車でよく宍戸小学校付近を通るのですが、あの付近は小学校付近にもかかわらず、道幅の関係なのか、歩道がなく危ないな、といつも感じていました。

宍戸駅の通りについてもそう思います。子供は飛び出しなど予測できない行動をとるのでヒヤヒヤします。

一部工事をしているようですが、子供が安心して通学でき、住民も安心して通れる環境づくりをお願いします。

【回答】(担当課 都市建設課)

道路環境整備につきましては、市としましても、子供ばかりではなく人も車も安全に、そして安心して利用できるような整備が重要であると考えております。

ご要望のありました宍戸小学校付近については、幹線道路である山本コンクリート前の坂下から旧陣屋までの市道については片側歩道で、旧陣屋から宍戸小学校までの国道355号については県において両側歩道で道路整備を進めております。

また、宍戸小学校脇から田んぼの中を通り、いこいの家はなさか入口までの区間についても両側歩道の道路整備計画をたて平成23年度完成を目途に事業を進めているところです。

これらが完成すれば、歩行者と自動車が分離され、安全性も格段に向上するものと確信しております。

宍戸駅の通りについては国道355号ですので、管理を行っている県水戸土木事務所に確認しましたところ、「県としましても歩道の設置や拡幅は重要な課題であると認識しておりますが、この道路については家屋が密集し拡幅が困難であることから、バイパスとして整備を行ったものであり、現時点での対応は難しい。」とのことございます。

このような状況でございますが、市としましても引き続き、誰もが安全にそして安心して利用できる道路環境の整備に努めてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

6	
<p><b>【質問】</b> 未就学児の子どもを託児できる施設が分かりにくい。そういう施設の一覧や詳細があるといいなと思う。</p>	
<p><b>【回答】</b> (担当課 子ども福祉課) 今年度、子育てに関する情報をまとめた「子育て支援ガイドブック」を作成しております。21年3月頃に市内在住の小学生までの児童がいる世帯にお配りする予定です。妊娠から出産、小学校卒業までの経済的な支援や子育てに関する制度・情報を、年齢に応じて掲載する構成になっています。 その中には、市内にある保育所や幼稚園、学校、子育て支援センターなどの施設一覧、詳細も掲載しています。</p>	
7	
<p><b>【質問】</b> 親が急な病気やケガの時に病院へかかる時に、安心して預けられる施設があるといいなと思う。</p>	
<p><b>【回答】</b> (担当課 子ども福祉課) 保護者が急な病気になったり、冠婚葬祭や子育てに疲れてしまったときなど、一時的にお子さんの世話ができなくなったとき、市内公立保育所4箇所・民間保育園5箇所で開設時に1日2,000円でお預かりしています。</p>	